

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖ヨセフつどいの家			
○保護者評価実施期間	2025年3月14日 ～ 2025年3月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 8 名	(回答者数)	2 4 名
○従業者評価実施期間	2025年3月14日 ～ 2025年3月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数)	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との日々のコミュニケーションを密に図っている。	・登所・降所時にご家族と情報の共有をしている。ご家族に伝える際は具体的に伝えている。 ・モニタリング時に課題や利用中の様子や相談事等を話し合う機会を設けている。 ・相談事は迅速に対応できるように心掛けている。	・普段からのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築いていく。 ・ご家族とのコミュニケーションを通してニーズ等の確認や子ども達の状況の改善に繋げていく。
2	身体を動かす事を中心とした活動の充実	・体育館やグラウンドを活用し、思い切り身体を動かす活動を提供し、子ども達だけでなく職員も一緒に楽しんで取り組み遊びの中から学ばせている。 ・プールや運動会、ハロウィン、クリスマス会等の季節に応じた活動や行事を取り入れている。	・現在の子ども達の状況に合わせた活動を職員間で話し合い、提供していく。 ・体育館でのサーキット運動の工夫をしていく。
3	生活介護事業との協力、連携	・生活介護事業と合同での行事や活動を取り入れている。 ・卒業後の生活介護事業への移行を踏まえた学校からの実習の受け入れを行っている。	・職員全体の支援力の向上やスキルアップを図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	・以前は地域の方々をクリスマスコンサートへ招いたり、他事業所と芋煮会を開いて交流を図っていたが、コロナ禍以降は行えていない。	・現在、行事や活動を通して買い物等の地域資源を活用した短時間の外出から取り組んでいる。安全面に配慮しながら子ども達の状況に合わせて一日外出や外部との交流を検討していく。
2	利用児が個別に過ごせる部屋が少ない	・学校の跡地の建物の為、スペースに限りがある。	・パーティションやカーテン等を使用し、部屋を区切る等の工夫をしていく。必要に応じて購入を検討していく。
3	BCPやマニュアル、安全計画のご家族への周知	・作成する事に時間を要し、ご家族への周知までには至らなかった。	・各種対策については、安心して利用して頂く為に明確化したものをご家族へ周知できるように準備していく。